

文教常任委員会研修報告

8月2日午前9時
沖繩県那覇市立石嶺小
学校（学校2学期制につ
いて）

8月2日午後1時
那覇市教育委員会宿泊
施設 森の家「みんな」
（英語宿泊研修制度につ
いて）

調査の概要と所感

(1)学校2学期制について
那覇市では、平成18年か
ら市内の全公立幼稚園、
小中学校に2学期制を導
入されています。本制度
改革事業がスタートする
までの、約4年間にわた
る那覇市教育委員会当局
の周到な改革準備と研究
開発について、その経過
と成果の説明を受けて深
い感銘を受けました。
その成果は「確かな学
力向上」「豊かな心を育
む」この2点です。石嶺
小学校では永年続いてき
た3学期制から2学期制
に移行するには、学校経
営を先導する学校長の決
断がありました。又、先

生の協力なくしては推進
ができませんので、先生方
の理解と、意識変革のた
めの職員会議が何度も実
施されていました。そし
て、最大の難関である保
護者の理解を得るための
地区説明会を実施、都合
で出席できなかった保護
者へは家庭に向き説明
をされています。今まで
の学校に対する意識を変
えなければなりません。
校長の熱意と若い教頭の
頑張り、又意見を押し付
けずに徹底して論議され
たことで、100年以上
続いた3学期制から2学
期制の導入がスムーズに
できており、現段階では
成功と言っても良いと思
われます。導入後は先生
にゆとりの時間ができサ
マースクール（補修授業）
の実施や、子どもたちと
の関わりの時間が増えた
とのこと。また、学
校外部の評価や児童、保
護者、教師へのアンケー
トも実施されています。

(2)「英語宿泊研修」制度
について
那覇市では3年前から
全小学校に英語指導助手
を導入されています。週
1・5時間程度ですが、
低学年の時から無理のな
い時間で生の英語に接す
ることは、将来大きな
成果が期待できると思わ
れます。宿泊研修は市内
の全児童、生徒に対して
募集し、青少年施設森の
家「みんな」で行われ
ていました。1泊2日の
研修中は全て英語で、し
かも保護者なしで参加し
た子どもたちにおおきな
自信がつくと確信しまし
た。那覇市教育委員会当
局の教育行政と、石嶺小
学校の学校運営に関する
職務知識への連携と改革
意識を高く評価します。
今回の調査を機に、合
志市内小中学校の2学期
制と英語教育に関する研
究に役立てていきたいと
考えます。

議員参加の主な行事

☆「くまもと・きれいな
川と海づくりデー」
7月29日（土）7時～
上生川・塩浸川

河川清掃が上生川・塩
浸川と二手に分かれて行
われました。市民・企業・
市職員・市議会など約
350名が参加し、川が
綺麗になりました。



☆第1回合志市 消防操法大会

7月30日（日）9時～
合志市中央運動公園
グラウンド

合併して初めての、消

防操法大会が開催され、
第4分団（上庄）が優勝
しました。



☆行政評価システム 導入議員研修会

8月29日（火）9時～
合志庁舎大会議室

行政評価システム導入
にあたり、研修会に参加
しました。

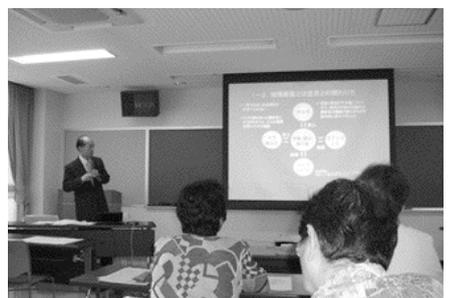
講師は、JMAC構造
改革推進センターの梅田
次郎氏。「これからの自
治体経営と行政評価」合
併の成果をどのように確
実に創出していくか」

☆交通政策に 関する説明会

8月29日（火）13時～
合志庁舎議員控室

今後の合志市における
新しい公共交通のあり方
について熊本電鉄株式会
社の斉藤常務はじめ4名
の方から研修を受けまし
た。

LR Tの先進地である富
山ライトレールの設立経
緯や現況及び熊本電鉄の
今後の展開として、LR
T化事業とそれにとみな
うバス路線再編等につい
て詳しい説明がありまし
た。



総務常任委員会研修報告

健康福祉常任委員会研修報告

7月19日富山ライ トレール事業・エコ タウン交流推進事業 について

富山ライトレールは、

北陸新幹線や富山駅高架
化工事を機に、JR西日
本の富山港線を引き継い
で、本年4月末に開業し
たものである。総延長7.6
km、駅数13駅、所要時間
25分ということで、熊本
電鉄の藤崎宮く御代志間
の9.7km、13駅、所要時間
25分と似たような規模で
あった。

熊本市電でも一部導入
済みの、低床型車両を全
車両に導入し、降車時に
精算の手間が不要なIC
カードも採用している。

総事業費は58億円であ
るが、さまざまな補助金
等を利用し、富山市の持
ち出しは3億円程度とい
うことであった。

運営会社の筆頭株主は
富山市で、ほかに富山県
や同県内の企業など15社

が出資している。

開業以来、利用者数が
当初目標を45%も上回る
も一日平均6千70人とい
う好調な滑り出しを見せ
ている。

この好調さの要因とし
ては、市の政策目標であ
る「コンパクトなまちづ
くり」を実現するための
先導的施策として位置づ
けられていることと、計
画段階から、市長より
「LRTは高齢者の増加
を見据えた乗りやすい乗
り物で、これからのまち
づくりは公共交通を生か
したコンパクトなまちづ
くりが必要だ」との理念
が何度も発信され、「住
民にも自分たちの乗り
物」という意識が育って
いるためだろう、とのこ
とであった。

富山エコタウンセン
ターは、富山市海岸通り
の「エコタウン産業団地」
内にある。約18haの敷地
には6つの企業も立地し

ているが、センターは、
市が推進する「循環型の
まちづくり」の拠点施設
として、ごみ問題や環境
問題の学習の場を、幅広
く市民に提供している。

また、団地内の廃合成
ゴムリサイクル施設と自
動車リサイクル施設の2
箇所を見学したが、産業
廃棄物ゼロ・エミッショ
ン構想や循環型リサイク
ル推進事業など、エコタ
ウン事業に富山市が熱心
に取り組んでいる様子が
見て取れた。



富山ライトレール車輛

平成18年7月19日、21

日長野市の子育て支援に
ついて及び松本市の高齡
者福祉について

長野市は、人口38万1

千人の都市で子育て支援
に取り組んでいる。長野
市次世代育成支援行動計
画を平成16年度に作成し、
17年度から事業を実施し
ている。経済団体で長野
市子育て支援連絡協議会
を設立し、子育てしやす
い雇用環境推進、職場体
験等、子どもたちへの啓
発活動の促進、広報活動
等を事務局(児童福祉課)

と連携し、連絡協議会は
商工会等15団体と経営者
協議会長野支部で実施さ
れていた。児童館、児童
センター、児童クラブに
ついては、児童館46館の
施設数があり、運営主体
は長野市社会福祉協議会
で児童クラブは、児童館
の放課後対策に入れない
児童のために、児童クラ
ブとして17クラブを社会
福祉協議会に委託し実施

されている。

されている。

課題は、児童館・児童
センターのあり方、登録
児童数の増加により施設
の狭あい化、教育委員会
と学校の連携、時間の延
長、受益者負担の導入等
の課題がある。指定管理
者制について43館は18年
度移行し、19年度に全館
移行が計画されている。

松本市は、長野県中央
に位置し、人口22万7千
人の都市で高齡者福祉政
策を進めている。介護保
険制度に基づく市独自の
低所得者対策については、
財源として第4段階及び
第5段階の保険料を割増
して徴収されていたが、
平成18年度から国の見直
しにより(新第2段階)

が設定され、市独自の減
免措置は廃止され、新た
に地域支援(介護予防)
事業に生活管理指導員派
遣事業を実施しており、
一般高齡者施策では地区
別介護予防教室を開催し、
介護予防に関する知識や

情報発信に努めている。
介護給付適正化事業とし
て、介護給付費通知・派
遣相談事業及び訪問給食
サービス事業等を実施し
ている。

包括支援センターにつ
いては、平成18年4月1
日に3センターを直営で
設置し、平成20年4月に
5センターを追加して、
8センターとする予定で
ある。センター運営は、
中立性、公平性の確保に
努め2年後の8センター
化に備え、8センター分
の専門職員の研修がなさ
れていた。先進地といわ
れている両市でも、財政
面を含めて、大変厳しい
状況であった。

